

回復リハビリテーション病棟 実績

当院実績指数(2026年1月～2026年6月)

49.40

>

基準値

42

実績指数とは 2016年厚労省がより質の高いリハビリを提供している回復期リハビリテーション病棟を評価する方法として用いられるようになった指数です。

実績指数が40以上あると「質の高いリハビリテーションを提供する病院として認められます。」

「入院から退院に至るまでの間にどれだけADLが改善したか」という点と「在院日数が何日なのか」という点に着目し、これらを規程の式に入れることで算出されます。入院している期間が短いほど、またADLの改善度が大きいほど高くなります。

よってこの数値が高い病院ほどより短期間でより効果の高いリハビリテーションを提供する病院であると言えます。

退棟患者数及びリハビリテーションを要する状態の区分別内訳

回復期リハビリテーションを要する状態	要件1	要件2	要件3	要件4	要件5	要件6	その他	合計
過去3ヶ月退棟患者数(2026年4月～2026年6月)	21	37	25	0	3	0	0	86

回復期リハビリテーションを要する状態

要件1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷
要件2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態
要件3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態
要件4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態
要件5	股関節又は膝関節の置換術後の状態
要件6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態